

きゅうしょくだより

せんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん

全国学校給食週間にについて知ろう

わたしたちが毎日食べている給食は、ごはんやパンに魚・肉・豊富な野菜・牛乳、そしてくだものなどを組み合わせた栄養バランスのよい食事です。

戦争などによって中断されていた給食が再び始まったことを記念して、「全国学校給食週間」が定められました。全国学校給食週間を通して給食の歴史を知り、生きものの命をいたしたことや給食に関わる人のことなどを考え、感謝して食べましょう。

学校給食の歴史を知りましょう

明治22(1889)年

山形県の小学校で昼ごはんを持って来られない子どもたちのために昼ごはんを出したことが、学校給食の始まりといわれています。その後、日本中に広がっていきました。



昭和21(1946)年12月24日

[学校給食感謝の日]
戦後、アメリカから寄贈された脱脂粉乳や小麦粉を使った給食が提供されました。



現在の給食

小学生や中学生の健康を守り、成長するためには必要な栄養素をバランスよくとることができるように考えられています。給食を通して、食について学ぶよい機会となっています。



昭和16(1941)年ごろ~

戦争が始まると、食べものが足りなくなり、給食を続けることができなくなりました。

令和8年1月

大阪市立小路小学校

1月の献立より

～おせち料理にこめられた願い～

正月には、「今年も健康で幸せに過ごせます

ように」と願って食べる料理がたくさんあります。

1月14日(水)ごまめ

「田作り」とも呼ばれて、米や作物の豊作を願う。

1月20日(火)

・紅白なます

だいこんの白色とにんじんの赤色で、水引を意味

して、新年を祝うめてたさを表す。



・黒豆の煮もの

「まめまめしく(はじめによく)働けますように」と願う。

1月27日(火)くりきんとん

「今年も豊かな生活が送れますように」と願う。



今が旬の野菜

★みずな★

昔から京都府で栽培されていた京野菜です。寒さ

が厳しくなる秋の終わりから冬にかけて旬(たくさん)

とれて、おいしい時期)をむかえ、京都府では「みずな

が店に出るようになると、冬本番」といわれています。



1月30日(金)みずなの煮びたし

